

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001063

彙報

島市・指宿市・鹿児島市

平成三十年年度（所属・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター研究事業（霧島神宮の研究）

〈出張〉

- ・「霧島神宮所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、平成三十一年一月二十五日（金）～二十七日（日）、鹿児島県霧島市（霧島神宮）

- ・「霧島神宮関連資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、渡邊卓（研究開発推進機構助教）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成三十一年二月七日（木）～九日（土）、宮崎県宮崎市

- ・「霧島神宮関連資料調査」、上西亘（研究開発推進機構助教）、平成三十一年二月十三日（水）～十四日（木）、宮崎県宮崎市

- ・「霧島神宮関連資料調査」、上西亘（研究開発推進機構助教）、平成三十一年三月七日（木）～八日（金）、鹿児島県鹿児島市

- ・「霧島神宮関連資料調査」、渡邊卓（研究開発推進機構助教）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成三十一年三月十六日（土）～十八日（月）、鹿児島県霧

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

- ・「北海道神宮関連資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成三十一年三月一日（金）～三日（日）、北海道札幌市

▽研究開発推進センター研究事業（「伝統文化・神社・

地域と共存社会の研究」）

〈研究会〉

- ・平成三十年年度第二回共存学公開研究会「イリベラル（非自由主義的）・デモクラシーの歴史と現状―ヨーロッパにおける「共存」の動向―」、報告一＝佐藤俊輔（日本国際問題研究所研究員）「欧州における移民統合の行方」、報告二＝山崎望（駒沢大学法学部教授）「非自由／自由民主主義の「共存」をめぐる一考察」、コメント一＝藤嶋亮（法学部准教授）「東欧から見たイリベラル・デモクラシー」、コメント二＝磯村早苗（法学部教授）「現代のコスモポリタニズムと「共存」の

世界」司会Ⅱ 菊田真司（法学部教授）、平成三十一年三月九日（土）十四時～十七時三十分、A M C棟五階会議室〇六

〈出張〉

・「東日本大震災被災地の復興に関する現地調査」、古沢広祐（経済学部教授）、黒崎浩行（神道文化学部教授）、高橋雄一（研究開発推進機構研究補助員）、平成三十一年二月二十六日（火）～二十八日（木）、宮城県気仙沼市・南三陸町

▽國學院大學二十一世紀研究教育計画委員会研究事業
「渋谷の都市形成と再開発に関する研究」
〈研究会〉

・平成三十一年度第一回渋谷学研究会「銭湯と渋谷―移住者の都市形成史―」、報告一Ⅱ 山口拓（福島県立博物館副主任学芸員）「都市移住者研究の現状と課題について」、報告二Ⅱ 吉田律人（横浜開港資料館調査研究員・國學院大學兼任講師）「戦前の銭湯と経営者の出身地―新潟県西蒲原郡を中心に―」、報告三Ⅱ 羽毛田智幸（横浜市歴史博物館主任学芸員）「戦後の『全国浴場名簿』の分析について」、コメント一Ⅱ 谷口貢（二松学舎大學名誉教授）、コメント二Ⅱ 服部比呂美（文

学部准教授）、司会Ⅱ 手塚雄太（文学部助教）・秋野淳一（研究開発推進機構客員研究員）、平成三十一年二月二十三日（土）十三時三十分～十七時三十分、若木タワー地下一階会議室〇二

平成三十一／令和元年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）
▽研究開発推進センター会議

・第一回、平成三十一年四月六日（土）十五時～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
・第二回、令和元年九月二十六日（木）十二時三十分～十四時、A M C棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究会

・第一回、東郷茂彦（研究開発推進機構共同研究員）「大祓詞・大祓式」変遷の軌跡―近代神道の現実対応の一面―」、神杉靖嗣（研究開発推進機構客員研究員）「川面凡児の思想と近代神道」令和元年六月六日（木）十八時半～十九時、
・第二回、武田幸也（研究開発推進機構助教）「近代の大嘗祭解釈史」、戸浪裕之（研究開発推進機構共同研究員）

- 「島地黙雷の政教論―政教相依―論の構造とその展開―」、中野裕三（研究開発推進機構共同研究員）「神嘗祭と新嘗祭―星野輝興の学説をめぐって―」、令和元年六月二十日（木）十八時十五分～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、上野誠（奈良大学文学部教授）「折口信夫の自己定位―矢野玄道歌への言及から―」、令和元年六月二十七日（木）十八時～二十時、A M C棟五階会議室〇六
- ・第四回、上西亘（研究開発推進機構助教）「昭和前期の大国隆正顕彰について」、小林威朗（研究開発推進機構共同研究員）「明治前期の神職とその活動―埼玉県の事例から―」、河村忠伸（研究開発推進機構共同研究員）「近代神社法制度と神社本庁」、齋藤公太（研究開発推進機構助教）「池辺義象の日本法制史研究と祭政一致論」、令和元年七月四日（木）十八時～二十時三〇分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第五回、「論集『近代の神道と社会』に関する研究会」（執筆者会議）、令和元年七月二十七日（土）十三時～十八時、A M C棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究事業（霧島神宮の研究）

〈会議〉

- ・霧島神宮誌編纂委員会第五回全体会議、令和元年五月十三日、十六時～十八時、明治記念館

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

- ・「北海道神宮の研究」打合せ及び資料調査、宮本誉士（研究開発推進機構助教）、大東敬明（研究開発推進機構助教）、令和元年六月二十八日～二十九日、北海道札幌市（北海道神宮）

▽研究開発推進センター研究事業（乃木神社の研究）

〈出張〉

- ・「乃木神社所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構助教）、令和元年八月三十日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・「乃木神社所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構助教）、令和元年十月四日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・「乃木神社所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構助教）、令和元年十一月二十九日（金）、東京都

港区（乃木神社）

▽研究開発推進センター研究事業（「伝統文化・神社・地域と共存社会の研究」）

〈國學院の学問（共存学）〉各回十時三十分～十二時、

二一〇四教室

・第一回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学への招待（1）…「自分・世界・地球」の今を読み解く（導入の授業1）」、四月十日（水）

・第二回、古沢広祐（経済学部教授）「共存への旅立ち（2）〈地域と世界〉ローカルからグローバルまで―総合的・

報 梟

多面的にとらえる―導入の授業2）」、四月十七日（水）

・第三回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「都市生活における共存と神社の関わり―渋谷や各地での試み―」、四月二十四日（水）

・第四回、茂木栄（神道文化学部教授）「鎮守の森で地

域をつなぐ―海・山 震災復興に鎮守の森の力をどう活かす」、五月八日（水）

・第五回、山本健太（経済学部准教授）「伝統と文化の

現代的諸相 西日本における神楽舞を事例に」、五月十五日（水）

・第六回、黒澤直道（文学部教授）「中国ナシ族の過去

と現在―急速な観光地化にゆれる生き様と「共存」」、五月二十二日（水）

・第七回、松本久史（神道文化学部教授）「文化としての神道と多元主義」、五月二十九日（水）

・第八回、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）「和歌から近代短歌へ―旧派」と「新派」の共存―」、六月五日（水）

・第九回、菅浩二（神道文化学部教授）「共存の困難さを考える―「歴史認識」とネイション・エスニシティ―日鮮同祖論と神社―」、六月十二日（水）

・第十回、加藤久子（研究開発推進機構客員研究員）「共存の歴史として描かれたもの―ポーランドのユダヤ人の歴史博物館―」、六月十九日（水）

・第十一回、ヘイヴンズ・ノルマン（神道文化学部教

授）「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえて―」、六月二十六日（水）

・第十二回、菊田真司（法学部教授）「共存の政治的条件」、七月三日（水）

・第十三回、佐藤俊輔（法学部専任講師）「ヨーロッパ

の移民・統合政策の歴史と現状」、七月十日（水）

・第十四回、木村秀史（経済学部准教授）「グローバリゼーションと反グローバリゼーション」、七月十七日（水）

・第十五回、古沢広祐（経済学部教授）「多様性が織りなすグローバルとローカルの世界動向―共存社会の課題、まとめ―・授業の振り返りと課題授業」、七月二十四日（水）

〈出張〉

・「岩手県、宮城県における東日本大震災被災地に関する調査」、古沢広祐（経済学部教授）、茂木栄（神道文化学部教授）、黒崎浩行（神道文化学部教授）、令和二年一月十二日（日）～十五日（水）、岩手県陸前高田市、宮城県東松島市

▽國學院大學二十一世紀研究教育計画委員会研究事業

「渋谷の都市形成と再開発に関する研究」

〈國學院の学問（渋谷学）〉 各回十時三十分～十二時、一〇五教室

・第一回、林和生（文学部教授）「渋谷学と渋谷」、九月二十五日（水）
 ・第二回、林和生（文学部教授）「台地と川がつくった魅力あふれるにぎわいの街・渋谷―台地（丘）と河谷と坂道の街―」、十月二日（水）
 ・第三回、西樹（シブヤ経済新聞編集長）「シブヤ経済新聞と渋谷」、十月九日（水）

・第四回、根岸茂夫（文学部教授）「谷間の村と町の風景」、十月十六日（水）

・第五回、上山和雄（名誉教授）「渋谷の近代」、十月二十三日（水）

・第六回、手塚雄太（文学部准教授）「渋谷区の誕生」、十月三十日（水）

・第七回、吉田律人（兼任講師・横浜開港資料館調査研究員）「代々木練兵場の社会史」、十一月六日（水）

・第八回、高久舞（兼任講師）「渋谷の祝祭空間とその変容」、十一月十三日（水）

・第九回、飯倉義之（文学部准教授）「渋谷を巡るハナシと記憶」、十一月二十日（水）

・第十回、秋野淳一（兼任講師・研究開発推進機構客員研究員）「東京渋谷の企業と宗教」、十一月二十七日（水）

・第十一回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「渋谷の防災・減災と宗教文化」、十二月四日（水）

・第十二回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「渋谷の住宅地と神社祭祀」、十二月十一日（水）

・第十三回、田原裕子（経済学部教授）「渋谷らしさの構築と変容」、十二月十八日（水）

・第十四回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー―統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済

的な特徴と課題―」、一月八日(水)

・第十五回、宇留間範昭(東急株式会社)「『渋谷文化』と再開発」、一月十五日(水)

▽外部研究機関との共催研究事業

・神道文化会第二十一回公開講演会「皇位継承儀礼を考える」(共催) 國學院大學研究開発推進センター、講演一 武田秀章(神道文化学部教授)「神道史から見た皇位と儀礼」、講演二 佐野真人(皇學館大学研究開発推進センター助教)「讓位儀礼について」、司会 藤本頼生(神道文化学部准教授)、令和元年六月二十二日(土) 十三時〜十五時三十分、A M C棟一階常磐松ホール

・明治聖徳記念学会公開シンポジウム「戦後の神社神道」(共催) 國學院大學研究開発推進センター、基調講演一 茂木貞純(神道文化学部教授)、基調講演二 石井研士(神道文化学部教授)、コメント一 神保郁夫(神社本庁参事)、コメント二 河村忠伸(研究開発推進機構共同研究員)、司会 櫻井治男(皇學館大学特別招聘教授)、令和元年七月十三日(土) 十三時三十分〜十七時三十分、A M C棟一階常磐松ホール

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会

・武田幸也(研究開発推進機構助教)「近代の大嘗祭理解と天皇像―アメリカ派遣研究を踏まえて―」、令和元年十月二十四日(木) 十八時十五分〜十八時四十五分、若木タワー地下一階会議室〇二

▽成果公開

〈刊行物〉

・霧島神宮誌編纂委員会編『霧島神宮誌』霧島神宮、令和元年九月

・北海道神宮社務所編・國學院大學研究開発推進センター編集協力『北海道神宮と札幌まつりの歴史』令和元年九月

・國學院大學研究開発推進センター編・阪本是丸責任編集『近代の神道と社会』弘文堂、令和二年二月

・『ブックレット渋谷学02』令和二年二月

・『都市民俗研究』第二十五号、令和二年二月

・國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十四号、令和二年三月